〔長久手町業務評価票:平成18年度業務〕

| 課係NO・業務NO | - | 総合計画 | 4節4項 | 地域情報化 | |
|-----------|---------------|--------|--------|-------|-------|
| 担当課・係名 | 企画課 交流・国際・IT係 | 系【問合せ・ | 質問等の先(| 内線番号) | 203番】 |

| 業務の名称 | 電算管理業務 | | | | | |
|----------------------------------|--|--|--|--|--|--|
| (1)根拠法令・条例 | なし | | | | | |
| (2)当該業務量 (延人員規模含む) | 総業務量の <u>5.0</u> %(係の総業務量を100%とする) | | | | | |
| | 職員延人数:_85人・日 (臨時雇用者延人数:人・日) | | | | | |
| (3)事業費 (人件費分を除く) | <u>5,109</u> 千円(平成18年度決算(細目・細々目の実績から抽出・算定する) | | | | | |
| (4)補助率(補助金がある場合のみ記載) | %(平成18年度実績) | | | | | |
| (5)業務期間 | 開始した年度 平成15年度 終了(予定)年度 なし | | | | | |
| (6)業務の概要 (簡潔に箇条書きで記載) | | | | | | |
| 業務目的(達成目標) | 愛知県及び県内全市町村が参加する「あいち電子自治体推進協議会」において、電子自治体化を効果的かつ効率的に実現する。 | | | | | |
| 業務が対象とする住 民(地域 層) | 長久手町への手続(申請や届出)を行う者 | | | | | |
| 業務の具体的な実施 内容・方法 (平成18年度実績) | 電子申請・届出システム: 平成16年度より稼動している電子申請・届出システムの対象手続を拡大する。 共同利用型施設予約システム: 屋外スポーツ施設を一次稼動の対象として、平成18年度から運用を開始する。 | | | | | |
| | 電子申請・届出システム: 印鑑登録証明書の発行など10手続を新たに電子申請で行えるようにした。(平成19年1月から) 共同利用型施設予約システム: 町内にあるテニスコート等の屋外スポーツ施設について、インターネット及び携帯電話から抽選や 予約の申込ができるようになった。(平成18年10月から) | | | | | |
| 業務の実施結果 | 【業務結果の説明指標】 18年度 19年度 19年度 19年度 19年度 19年度 19年度 19年度 19 | | | | | |
| (平成18年度実績) 【 | 17年度 実績 目標 将来目標 | | | | | |
| | 1 電子申請・届出システム利用者数 0 11 20 2 施設予約システム利用者数 0 709 1000 | | | | | |
| | 2 施設予約システム利用者数 0 709 1000 3 | | | | | |
| | 4 | | | | | |
| | 5 | | | | | |
| | | | | | | |
| 業務の成果 (業務目的の達成状況) (平成18年度実績) | ┃ | | | | | |
| | が、果の説明指標 実績 実績 目標 将来目標 | | | | | |
| | 1 情報化の推進 実施 また | | | | | |
| | 2 情報通信環境の整備と活用 実施 実施 実施 3 | | | | | |
| | 4 | | | | | |
| | 5 | | | | | |

(7)遂行上の問題点、取組課題(箇条書きで簡潔に記載)

・県内自治体が共同で開発・導入する施設予約システムは、現状では町施設の運用システムとは異なるため導入が難しい。

(8)改善実績(過去3年間の実績)

・事務に対するシステム導入が円滑にすすむよう、各施設に対して企画課が説明会や技術支援を行った。

| (9)業務の評価(自己診断) | | | | |
|----------------|--|-----------------|--|--|
| 評価基準 | 評価の視点 | 五段階評価 (5~1点) | | |
| 目的の達成状況 | 業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。 | 3 点 | | |
| コストパフォーマンス | 成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。 | 3 点 | | |
| 業務方法の最適採用 | 業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く 状況に対応して適切であったか。 | 3 点 | | |
| 住民の満足・信頼獲得 | 受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。 | 3 点 | | |
| 総合計画との整合 | 総合計画(基本計画)の方針に対応しているか。 | 3 点 | | |
| 他都市との比較 | 近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。 | 3 点 | | |
| | | 平均 3.0点 | | |

| (10)総合評価(課の見解) | | | |
|----------------|--|--|--|
| 今後の方向 | 1.前年度と同じく、そのまま継続する。 | | |
| (該当番号に〇印) | 2 . 見直して継続(業務の拡大) | | |
| | 3 . 見直して継続(業務の縮小) | | |
| | 4 見直して継続(方法の改善) | | |
| | う 5 . 見直して継続(他業務と統合) | | |
| | 6 . 廃止する。 | | |
| | 7 . 休止する。 | | |
| 評価理由 | 「あいち電子自治体推進協議会」における事業である、電子申請・届出システムや施設予約システムにより、電子自治体化を効果的かつ効率的に進めることができている。ただ、施設予約システムは、町施設の運用システムにはなじまない部分もあるので、予約システムの改善を協議会に求めていく。併せて、協議会のどの事業に参加するかは、町全体の電子自治体化政策の中で検討し、精査していく必要がある。 | | |

(11)今後の目標・改善方針(具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること)

引き続き、協議会事業に参加し、電子自治体化を進めていく。ただし、施設予約システムをはじめ各事業において、本町の 運用において使いにくい面があることから、本町に最適なシステムの構築・導入・運用ができるよう協議会への働きかけを 積極的に行い、電子自治体化を一層推進できるようにする。